

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.232
2025.6.30

特集

活躍する南山大生

Nanzan Sports Festival



NANZAN
UNIVERSITY

活躍する南山大生

アパレル産業の問題やアップサイクルに興味を抱いて一念発起！ 「南山大学エコファッション」を立ち上げ、学内外で様々なイベントを行う



横山 茜さん
総合政策学部
総合政策学科3年

「南山大学エコファッション」設立の経緯を教えてください。

昨今のファストファッションの大量生産・消費に疑問を抱き、何とか現状を打破したいと有志団体「南山大学エコファッション」を設立した横山さん。2024年度の南山チャレンジプロジェクトに採択され、数々のイベントを企画・運営してきました。

アパレル業界の問題に疑問を抱いたことがきっかけです。バングラデシュでのラナ・プラザの崩落事故などを知り、「何とかしなければ」と考えるようになりました。他大学の友人に「こんな活動をしてみたい」と相談していた時に、大学内に学生の活動を支援するプロジェクトがあることを知り、「南山チャレンジプロジェクト」の採択を目指して1年生の冬頃に団体を設立しました。

団体として、普段どのような活動をされているのですか？

いらなくなった洋服や物からアップサイクル衣装を制作してイベントを行うことで、環境問題やアパレル業界に隠れた社会問題などを世界に発信することを目指して活動しています。具体的には、学内外でファッションショーやワークショップなどのイベントを企画・運営したり、清掃活動やピラ配りを行ったりですね。4月に名古屋・栄で開催されたイベント「循環フェス名古屋」にも出展しました。



「アップサイクル」に興味を持つようになったのはいつ頃ですか？

1年生の夏頃からですね。総合政策学部の藤本先生が行っている「ベトナムマングローブ植林プログラム」に参加した時に、とあるアーティストの方と知り合ったんです。廃棄された漁網をアップサイクルする活動に取り組んでいると知って、お話を伺ううちに、洋服をアップサイクルすることで「モノの寿命を伸ばす」ことができるのではと考えるようになりました。

大学祭でも、ファッションショーやワークショップイベントを行ったそうですね。

「南山大学エコファッション」の活動の集大成でもあるアップサイクルファッションショーと、ワークショップ、フリーマーケットを行いました。ファッションショーでは、ネクタイや傘の布で作ったドレス、ジーンズをトップスにアレンジしたものなど10着の衣装をモデルに着てもらい、「どんな意図や思いでこの洋服を作ったのか」を丁寧に伝えました。一方ブースでは、端切れを使ってモデルのミニ衣装をデザインするワークショップやフリーマーケットを企画。子どもから大人まで、たくさんの人が自由な発想で楽しんでくれているのを見て、とてもうれしかったですね。

環境系の団体ということもあって、「意識が高い、難しいことをしているのではないか」と思われてしまうことが多かったのですが、大学祭を通じて、もっと身近なところで活動していることを伝えられたのではないかなと思います。



2024年東海リーグにて5連覇を達成し、 全日本大学選手権でもベスト4の好成績を残した女子ラクロス部。 その主将として、学生日本一を目指して練習に励む



辻 和佳さん
総合政策学部
総合政策学科4年

「学生日本一を目指したい」と、熱い思いを持ってラクロス部に入部した辻さん。中高時代に陸上部で鍛えたスピードとスタミナを武器に、現在は主将として部を束ねながら、日々練習に打ち込んでいます。

ラクロスを始めた理由を教えてください。

もともと中高生の頃に陸上をやっていた、高校3年生の時には全国大会に出場した経験から、大学でも日本一を目指したいと考えていました。南山大学に入学することが決まり、「南山にも日本一を目指せる環境がある」ことを知って、ラクロス部に興味を持ったのがきっかけです。ラクロスはほとんどの人が大学から始めるためスタートラインが同じであることや、過去には日本代表になった先輩もいると聞いて、初心者から4年間でそこまで目指せるということに魅力を感じました。

主将として部をまとめるために、大切にしていることを教えてください。

学年関係なく、部員一人ひとりが自発的にチームのために考えて行動できるような環境を作ることです。チームとして新しいプレーに挑戦することを大切にしていますが、失敗を恐れてなかなかできない部員もいるので、最上級生である私が積極的に



挑戦する姿勢を見せることで、一步踏み出してくれたらいいなと思っています。「第32回東海学生ラクロスリーグ戦」で5連覇を果たした時のことを教えてください。

開幕戦で愛知教育大学に敗れたり、ファイナル4で名古屋大学に1点差で逆転勝利したりと、苦しい試合が多かったですね。ただ、それを転機に「もう一度GB*を徹底直そう」となるなど、結果的にはチームとしていい方向に変わることができました。だからこそ、決勝数日前に主力の4年生が怪我で欠場になるという困難な状況の中でも、チーム一丸となって勝ち切ることができたのかなと思います。連覇を途絶えさせることなく終えることができて、ほっとしました。

*GB…グラウンドボール。落ちたボールを拾って、マイボールにすること

その後の「第15回ラクロス全日本大学選手権大会」で、全国ベスト4になった時はいかがでしたか？

今までは関東の大学に大差で敗れていたのを、そこを2点差まで迫ることができた分、すごく悔しかったのを覚えています。試合終了の数分前に5対5に追いついたのですが、最後の最後に点を入れられてしまっ。『関東代表として、絶対に負けない』という相手チームの気迫がすごくて、その差だったのかなと思います。ただ、負けてはしまいましたが、日本一に近づいたからこそ、自分たちのチームに何が必要なのかも見えてきました。



誌面の都合上、紹介しきれなかったインタビュー全文や写真はWebページ「NANZAN Today」よりご覧いただけます。
<https://today.nanzan-u.ac.jp/>



学内のピッチコンテストやアジアの学生が集まる「ASEACCU学生会議」に積極的に挑戦！ たくさんの経験を経て、「人のために」行動する大切さと尊さを学ぶ



三ノ京 大翔さん
理工学部
データサイエンス学科3年

「海外でデータサイエンティストとして働きたい」という志を持って、南山大学に入学した三ノ京さん。「NANZAN English Pitch Arena」や「ASEACCU学生会議」といった舞台でたくさんの人と交流する中で、少しずつ考えに変化が出てきたそうです。

「NANZAN English Pitch Arena」出場の経緯を教えてください。

私はE.S.S.というサークルのDebateセッションに所属しているのですが、その先輩に誘われたことがきっかけです。「孤独という問題を解決するために、誰もが気軽に通える居場所が必要だと思う」という話を聞き、すごく共感できる内容だったので、出場を決めました。「ビジネスアイデアを考えて英語で発表する」ことに興味を持ち、挑戦したいと思ったことも理由の一つです。

コンテスト当日はいかがでしたか？

何とか練習通りにやりきることができて、ピッチが終わった時にはとても安心し



ました。また質疑応答で審査員の方の質問に答えることで、自分たちの思いをより深く伝えることができ、よかったと思います。

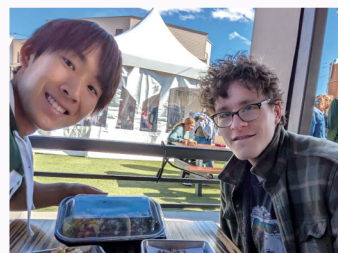
手応えを感じた一方で、「あの質問にはこう答えればよかったな」という部分もあります。

「ASEACCU学生会議」の応募のきっかけは何でしたか？

当時の指導教員だった佐々木美裕先生にご紹介いただいたのがきっかけです。1年次、アメリカのコロラド州に1ヵ月ほど留学したのですが、その時にも先生にお世話になっていて、そのご縁で声をかけていただきました。「東南アジアや東アジアから学生が集まって会議をする」と聞き、いろいろな国・地域の学生が集まってどんな話をするのだろうと興味があったので、応募することにしました。将来は海外で働きたい私にとって、いろいろな国の文化や宗教観について考えを深められる絶好の機会だとも考えました。

参加するにあたって、事前にどのような準備をされましたか？

テーマが「What makes a Catholic University Catholic?」（カトリック大学がカトリックであるには）だったので、まずはカトリックについての知識を深めるために、本を読んで自分なりに学び、さらにキサラ学長に質問をする機会もいただきました。カトリックは厳格な教えだという印象を持っていたのですが、学長とお話の中で、現代の多くの人の価値観に合わせて適応していることを初めて知りました。



Nanzan Sports Festival

開催

2月16日、3月16日、22日、23日に、中部地区のカトリック校を中心に近隣の高等学校を招待し、Nanzan Sports Festivalを開催しました。キリスト教の教育理念を共有する高等学校とより一層の連携を図るとともに、地域におけるスポーツの活性化を目指し今年度初めて実施しました。

2月16日 サッカー（交流試合）
参加校：海星高等学校、名古屋高等学校、南山高等学校男子部

3月16日 バスケットボール男子
参加校：海星高等学校、光泉カトリック高等学校、四日市メリノール学院高等学校

3月22日 バスケットボール女子
参加校：海星高等学校、浜松聖星高等学校、光ヶ丘女子高等学校

3月23日 バレーボール男女
参加校：（男子）海星高等学校
（女子）海星高等学校、聖カピタニオ女子高等学校、聖マリア女学院高等学校、聖雲高等学校、光ヶ丘女子高等学校、南山高等学校女子部

Special Events

2025.3.6

南山チャレンジプロジェクト活動報告会

3月6日、2024年度南山チャレンジプロジェクト活動報告会を実施しました。「南山チャレンジプロジェクト」は学生による学内を活性化する企画や地域との交流、国際交流などを推進する取り組みを大学として支援し、学生の成長につながる多様な機会を創出することを目的としています。

採択された以下の3団体が、1年の活動を振り返り、実施した企画や、活動の中で生じた困難な状況をどのように乗り越え、何を学んだか等を発表しました。

【採択団体】エコファッション、南山リサイクルプロジェクト、南山大学遺跡を歩こうの会



▲報告会で発表をする学生

2025.3.19

2024年度 学生部長表彰式

3月19日、2024年度学生部長表彰式を開催しました。学生部長表彰は、個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績をおさめたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたときに授与されます。

今年度は、個人20名と10団体に賞が授与されました。



▲吉田教学生部長より表彰状が授与されました

2025.3.19

2024年度 学長表彰

卒業予定者のうち品行方正で、学業あるいは課外活動で特に優れた成績をおさめた学生、または特に顕著な善行が在学中継続した学生31名に、その努力と栄誉を称え、学長から表彰盾を授与しました。

【人文学部】7名 【法学部】3名
【外国語学部】6名 【総合政策学部】3名
【経済学部】3名 【理工学部】4名
【経営学部】3名 【国際教養学部】2名



▲キサラ学長より表彰状が授与されました

2025.3.20

2024年度 卒業式

3月20日、2024年度卒業式を行い、2,184名(学部生2,132名、大学院生52名)の卒業生を送り出しました。

中部地区を含む西日本で唯一のカトリック総合大学である本学らしく、式典では「卒業感謝の祈り」として司祭による聖書朗読、各学部の代表学生による共同祈願などとともに学位記授与式が行われ、会場は厳粛な雰囲気になりました。

当日はインターネット(YouTube Live)で卒業式の模様を同時中継しました。



▲卒業式の様子

2025.3.31-2025.4.3

フレッシュマン祭

3月31日から4月3日までの4日間、フレッシュマン祭を開催しました。

新入生向けにクラブ・サークル紹介をするため、今年は114団体がキャンパス内でチラシの配布や勧誘活動、教室やフラッテンホール、体育館、グリーンエリア等でのイベントを実施しました。



▲メインストリートの様子

2025.4.1

2025年度 入学式

4月1日、2025年度入学式を行い、2,615名(学部生2,519名、大学院生96名)の入学者を迎えました。

ロバート・キサラ学長は告辞において、「これからの4年間の在学期間中、地球規模の関心を深め、自分独自の貢献、自分であるからこそできる貢献を見出してください。」とメッセージを贈りました。

当日はインターネット(YouTube Live)で入学式の模様を同時中継しました。



▲入学式の様子

News

理工学研究科、理工学部の学生が「第22回情報学ワークショップ」で優秀賞、奨励賞を受賞

「第22回情報学ワークショップ」で、本学理工学研究科データサイエンス専攻の高橋李功さんが優秀賞を、理工学部ソフトウェア工学科4年佐々木瞭磨さんが奨励賞を受賞しました。

高橋さんは「打ち切りデータを考慮したマシーンのレーティング手法」、佐々木さんは「生成AIが提示した複数のコード片から適切なコード片の選択を支援するツール」をそれぞれ発表し受賞しました。

総合政策学部金網ゼミの学生が「第14回国際ビジネス研究インターカレッジ大会」で入賞

総合政策学部金網ゼミの学生が、「第14回国際ビジネス研究インターカレッジ大会」で、全体5位に入賞し、ファイナリスト賞と審査委員会特別賞(林倬史賞)を受賞しました。

「国際ビジネス研究インターカレッジ大会」は、大学のゼミナールにおける研究成果を学術論文形式で発表し、チーム対抗で優勝を目指す研究報告の全国大会です。

◆全体5位入賞、審査委員会特別賞(林倬史賞)
総合政策学部金網ゼミ ゴールドピクミンズ
石丸大輔、渥美菖乃、井内愛梨、小泉好加、毛利桃香、渡部輝弥、FAN Ling-I



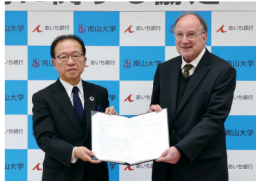
あいち銀行と連携・協力に関する協定締結式を開催

1月28日、あいち銀行と連携・協力に関する協定締結式を本学にて開催しました。

本学は、地域活性化、学術研究、学生教育、国際交流等の分野で協力し、地域社会の振興と発展に寄与することを目的として、あいち銀行と連携・協力に関する協定書の締結をしました。

今後、本学経済学部学生を対象とした寄附講座の開講や、起業家プログラム「NANZAN SPARK」などへの協力が予定されています。

締結式には、伊藤行記頭取(当時)、キサラ学長の他、本学卒業生であるあいち銀行の若手行員の皆様も参加しました。



▲左：あいち銀行 伊藤行記頭取
右：ロバート・キサラ学長



▲締結式参加者

理工学部の学生が「第11回 実践的IT教育シンポジウム rePiT2025」で優秀発表賞を受賞

理工学部ソフトウェア工学科4年の西雄勇翔さんが「第11回 実践的IT教育シンポジウム rePiT2025」で優秀発表賞を受賞しました。

西雄さんは「大規模言語モデルの利用によりコンパイルエラーへの修正ヒントを提示する手法の提案」を発表し受賞しました。



本学学生が株式会社秋田製麺所と連携し、きしめんの端材を使った粘土「やさしい秋田さんの『きしめんど』」を共同開発

本学コアグループ 南山大学SDGs普及啓発団体CLOVERが、愛知県西春日井郡豊山町にある株式会社秋田製麺所と連携し、きしめんの端材を使った粘土「やさしい秋田さんの『きしめんど』」を共同開発しました。

商品化された『きしめんど』は、南山学園の幼稚園や高校、地域の小学校でのワークショップで使用されました。また豊山町ふるさと納税返礼品に登録され、株式会社秋田製麺所のオンラインショップや県営名古屋空港の売店などでも販売が開始されました。



▲開発に携わったCLOVERの学生



▲商品化された『きしめんど』

「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」学修成果報告会を開催

「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」は、株式会社極東精機様からのご支援を原資とし、国際教養学部で学ぶ東南アジアおよび南西アジア諸島いずれかの国の国籍を有する者に対し給付する奨学金です。

3月19日、奨学生に採用された留学生3名による学修成果報告会が株式会社極東精機本社で行われました。それぞれ自己紹介を交え、この1年で学んだことや日頃の学生生活、自分の研究テーマ等について報告しました。

前列左から：ROKKA ANIL KUMARさん、GHIMIRE Swikritiさん、LEE Kasumiさん
後列左から：中村取締役、小山経営戦略室リーダー、神崎教授 ▶



「2024年度法学検定試験」団体賞合格率の部スタンダードコースおよびベーシックコースにて2位を受賞

「2024年度法学検定試験」団体賞合格率の部スタンダード<中級>コースおよびベーシック<基礎>コースにおいてそれぞれ2位になりました。

「法学検定試験」は、公益財団法人日弁連法務研究財団と公益社団法人商事法務研究会が共同で組織した法学検定試験委員会が実施しています。法学に関する学力を客観的に評価する、日本で唯一の全国規模の検定試験です。



▲スタンダードコース受賞者



▲ベーシックコース受賞者

外国語学部の学生が2024年MFJモトクロス全国大会で優勝

外国語学部英米学科3年佐藤太亮さんが、中部モトクロス選手権シリーズをポイントランキング1位で通過し、2024年11月17日に熊本県で開催された2024年MFJモトクロス全国大会に中部代表として出場し、優勝

を果たしました。また、2025年3月2日に三重県で開催された中部モトクロス選手権2025 第1戦でも総合優勝しました。今後のさらなる活躍が期待されます。



中高大連携に関する包括協定締結式

4月21日に賢明女子学院中学校・高等学校と中高大連携に関する包括協定締結式を行いました。このたびの協定締結により、カトリックの教育理念のさらなる深化を図るべく、相互の教職員・学生・生徒の交流・連携を通じて、より魅力ある大学・中学高校づくりを推進することを目

的とする中高大連携事業を実施します。宗教またはキリスト教に対する知識を深めることや生徒の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めることを目的とした教育的取組を展開していきます。

左：賢明女子学院中学校・高等学校 藤岡佐和子校長
右：ロバート・キサラ学長 ▶



中部国際空港セントレアに フラッグ広告を掲出しました

南山大学のフラッグ広告を
中部国際空港セントレア 第1
ターミナル3階の出発ロビー
に掲出しました。
中部国際空港にお立ち寄り
の際は、ぜひご覧ください。

コパン地上階に「うどん日和」がオープンしました

2025年4月、コパン地上階「咖哩日和」の隣に「うどん日和」がオープンしました。
メニューから好きなうどんを注文し、サイドメニューを自分で自由に選んで会計をする、セルフサービス方式のお店です。「うどん日和」の営業時間は平日の11時～17時で、どなたでもご利用いただけます(授業期間外等は休業日あり/売り切れ次第営業終了)。

Special Events Schedule

2025.7.4-2025.7.6

第66回上南戦

7月4日(金)から7月6日(日)の3日間にわたり、第66回上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)本戦を上智大学で開催する予定です。今年のスローガンは“ALL NANZAN ALL WIN”です。南山大学の部活が一つのチームとして結束を高め、完全勝利を成し遂げたいという思いが込められています。



パンフレット表紙▶

2025.7.19-2025.7.20

オープンキャンパス

今年のオープンキャンパスは、7月19日(土)、20日(日)に大学開催型を、8月5日(火)にオンライン開催型を予定しています。オープンキャンパス当日は模擬授業や学部・学科説明、個別相談コーナー、在学生によるキャンパスツアー等の企画を用意しております。ぜひご参加ください。オープンキャンパスへの参加は申込制く一部企画は予約制>となります。詳細は大学Webページ「受験生の皆様」をご確認ください。



<https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/opencampus/>



2025.7.21

ゆかたフェス

7月21日(月)に、第9回南山ゆかたフェスを開催予定です。南山ゆかたフェスは、ゆかたを着ることで日本文化に親しんでもらうことや、学内に交流の場を増やすことを目的とした参加型のイベントです。浴衣の販売や無料着付けだけでなく、緑日企画、プロカメラマンによる撮影等も予定しています。ぜひご参加ください。

7月中旬には、昨年に引き続き「南山ゆかたフェス×松坂屋コラボファッションショー」を開催予定です。学生によるアレンジした着付けをぜひ見に来てください。



▲昨年のゆかたフェスの様子

2025.10.4

教育研究懇談会(旧:保護者の集い)

10月4日(土)に、教育研究懇談会を開催します。学部生の保証人の皆様に対し、本学における教育・研究をはじめ、留学や就職支援に関する取り組みについてご説明させていただく機会としています。

※詳細は8月下旬に保証人様宛に送付する案内文書でご確認ください。

「人間の尊厳賞」 第4回受賞者決定

■ 授賞理由

国際カリタスの事業活動の核心は、世界各地で生じる困難に対し、それぞれの現場で個々の人々がきめ細かく的確な支援を継続的に実施できるような枠組みのもと、地球規模で着実に展開されている点にある。その活動の源は、善意に基づくNGO活動が自然と世界へ広まったという単純な経緯ではない。むしろ、個々の現場ごとに発生する困難の中でそれでも生きようとする人々を個別に支援しながら、同時に地球規模の視点をもって支えるという宗教的理念に根差した枠組みによるものである。宗教が政治の手段として利用されてしまいがちな世界の中で、国境を越えて人間の尊厳を守る活動を可能にするために宗教が依然として大きな力を果たしうることが、個別具体的な困難の現場における地道な活動を通じて示す国際カリタスの活動は、世界に無二のものであり、「人間の尊厳賞」にふさわしいものだと言える。

表彰式と記念講演会については次号でご案内します。

本学は、2021年に前身の南山外国語専門学校(旧制)創設から75年の記念の年を迎え、創立75周年記念行事を行ってきました。その一つの事業として、教育モットー「Hominis Dignitati-人間の尊厳のために」を冠して創設された「人間の尊厳賞」。この賞は、自らの尊厳と他者の尊厳を認め、一人ひとりをかけがえのない存在として様々な活動に取り組む個人または団体から、毎年、1名または1団体を表彰するものです。受賞者は、学内選考を経て、学長および学外有識者からなる選考委員会にて決定しました。

国際カリタス

プロフィール

1951年に教皇ビオ12世によって認可を受け設立された非政府組織(NGO)。ローマに本部を置き、160カ国200以上の組織が、カトリックの信仰に基づき、開発途上国を中心に災害や戦争、貧困、迫害などにより困難な生を余儀なくされる世界中の人々を、人種や宗教を問わず援助している。日本においても、1970年に設立されたカリタスジャパンを通じて、東日本大震災や能登半島地震などの災害支援を迅速かつ継続的に実施。

表彰式・記念講演会

開催日:2025年6月7日(土)

講演テーマ:混乱の時代に助け合う命

後援/南山大学同窓会

講演者: 菊地 功 大司教(国際カリタス総裁)
岩手県宮古市生まれ 南山大学文学部神学科卒業
1986年 3月15日 司祭叙階
2017年10月25日 東京大司教に任命、同年12月16日着座
2023年 5月13日 国際カリタス総裁に選出
2024年12月 7日 枢機卿叙任

菊地 功 大司教



人間の尊厳のために
HOMINIS DIGNITATI

私の研究



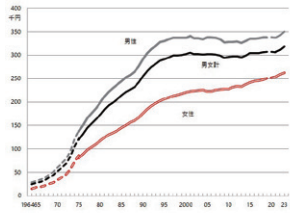
緒方 桂子(おがた けいこ)
法学部 法律学科 教授
専攻分野:労働法
研究テーマ:ケアとジェンダー平等の要請に適合する持続可能な労働立法政策
主な担当科目等:労働法AB、海外法文化研修・研究B(韓国)

実情)。大学卒業後の日本社会の実情はこのような感じですが。

日本は世界的にみて男女間の平等がかなり遅れている国です。2024年のジェンダー・ギャップ指数で日本は146か国中118位でした。私は、その理由について、家族ケア(育児、介護、看護等)の役割が女性に集中するなかで、それを前提とした社会制度や法政策、裁判例の形成が進行したためだと考えています。しかし、ケアは人間にとっても社会にとっても必要不可欠のものです。私は、ケアの不可避性を組み入れた新しい「人間像」のもとで雇用労働法制はいかにあるべきかを明らかにしようとしています。

ケアと労働の人間像

みなさんは南山大学生の男女比率をご存じですか。男子約4,400名(46%)、女子約5,260名(54%)で、南山大学は女子学生がやや多い大学です(2024年5月現在)。では、日本の正社員における男女比率はどうでしょうか。男性は約73%、女性は約27%です。管理職に占める女性の割合は課長相当職以上で約13%です(令和5年度雇用均等基本調査)。どちらも男女間で非常に大きな開きがあることがわかります。就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)は男性で約70%、女性で約54%ですから、雇用されている女性は男性に比べ少なく、またそのうちの約53%はパート、アルバイト、契約社員、派遣社員として働いています(令和5年版働く女性の



▲男女間の賃金格差

順位	国名	値
1	アイスランド	0.935
2	フィンランド	0.875
3	ノルウェー	0.875
4	ニュージーランド	0.835
5	スウェーデン	0.835
7	デンマーク	0.810
14	英国	0.789
22	フランス	0.781
36	カナダ	0.761
43	アメリカ	0.747
47	イタリア	0.733
94	韓国	0.606
106	中国	0.604
116	バーレーン	0.606
117	オーストラリア	0.604
118	日本	0.604
119	台湾	0.603
120	ブルナディ	0.603

▲ジェンダーギャップ指数2024にみる日本の順位

私のクラス



石原 靖哲(いしはら やすのり)
理工学部 電子情報工学科 教授
専攻分野:情報工学
研究テーマ:データベースセキュリティ、分散データ共有
主な担当科目等:情報セキュリティII、データベース

理学と工学を バランスよく学ぶ

私は学生時代、基礎工学部という名前の学部で学びました。理学と工学の融合的研究・教育を行っている学部であり、理論だけでなく、技術だけでなく、両方をバランスよく学べたことが自分の力になったと強く感じています。そこで、私の研究室では3年次生向けに次のような内容の演習を実施しています。

春学期は「サイエンスフェーズ」と題して、英語で書かれた離散数学の教科書の輪講をします。内容はそれほど高度ではなく、1年次の必修科目で学んだ内容を多く含んでいますが、ここでは他人に説明できるくらい正確に内容を理解することが求められます。同時に、英語で書かれた技術文書を英語のまま理解する訓練や、わか

りやすいプレゼンテーションをする訓練も兼ねています。

秋学期は「エンジニアリングフェーズ」と題して、ネットショップのようなWebサービスを自分たちで設計し実現する課題に取り組みます。具体的には、シングルボードコンピュータと呼ばれる小型の計算機をネットワークで接続し、その上で動作するようWebサービスのプログラムを作成します。当初はほとんどの学生がおそろそる作業していますが、最終発表会では見栄えも機能も十分な成果物を堂々と披露してくれます。

理論と技術、どちらも身につけるべく1年間努力した学生さんたちの成長は著しいものがあります。私はそれを見るのを毎年楽しみにしています。



▲サイエンスフェーズ



▲エンジニアリングフェーズ

キャリア支援課 プログラム紹介

キャリア支援課では毎年多彩なプログラムを実施しています。「キャリアサポートプログラム」は、特に低年次生の参加を推奨していますが、すべての学年の方が参加可能です。また、学部3年次生と大学院修士1年次生向けには、「就職支援プログラム」を実施します。学生の皆さんは、積極的に参加してください。

キャリアサポートプログラム

学部・学科別学び方講座(1年次生対象)

4月から5月にかけて、新入生対象の「学び方講座」を実施しました。各学科の教員から大学での授業の進め方や卒業後の進路などの説明を受け、学生は自らの大学生活での具体的な目標や課題設定を行いました。

1年次キャリアガイダンス

6月に1年次生を対象にキャリアガイダンスを実施しました。参加した学生は将来を意識したうえで大学生活への目標設定を行いました。

2年次キャリアガイダンス

6月に2年次生を対象に第1回キャリアガイダンスを実施しました。ガイダンスの中では、将来自分らしく働くために、自分の経験から価値観について考えるワークを行いました。2月に実施する第2回キャリアガイダンスでは、企業選びの軸について考えるワークを行う予定です。

資格業ガイダンス

5月に公認会計士や司法書士、税理士などをはじめとする9つの資格業の各専門家をお招きし、資格や仕事内容を伺う個別質問会を行いました。

★第3クォーターには、実践・体験プログラムで自らの適性・強み・弱点を知る「テーマ別ワークショップ」など多彩なプログラムを予定しています。

就職支援プログラム(主に学部3年次生・修士1年次生対象)

4月に就職ガイダンスを実施し、学生は就職活動への心構えや就職支援プログラムのスケジュール等を確認しました。今後は講座やワークショップ等で、インターンシップや本選考に向けて具体的な準備を進めていきます。キャリア支援課では、事前予約制で個別面談を実施していますので、学生の皆さんはぜひ活用してください。

[9・10月の予定] 行事の詳細および11月以降の予定はWebページまたはPORTAに掲載します。

プログラム名	文系	プログラム名	理系
第2回就職ガイダンス	9月24日(水)	第2回就職・進学ガイダンス	9月24日(水)
就職対策講座1 [自己分析・ESの書き方]	10月1日(水)	就職対策講座1 [ESの書き方]	10月1日(水)
就職対策講座2 [業界企業研究・志望動機]	10月8日(水)	就職対策講座2 [自己理解・自己PR]	10月8日(水)
就職対策講座3 [先輩の体験談]	10月15日(水)	就職対策講座3 [業界職種研究・志望動機]	10月15日(水)
就職対策講座4(文理共通) [筆記試験対策]	10月22日(水)	就職対策講座4(文理共通) [筆記試験対策]	10月22日(水)
就職対策講座5(文理共通) [面接対策・ビジネスマナー]	10月29日(水)	就職対策講座5(文理共通) [面接対策・ビジネスマナー]	10月29日(水)

<https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/index.html>

インターンシップサポート[学内企業説明会(インターンシップ・仕事体験)]

5・6月に、上場企業や人気企業を中心に約50社が南山生のみを対象に説明会を実施しました。学生は仕事体験やインターンシップに向けて企業研究や仕事研究を行いました。

卒業後の進路が決まった学生の皆さんへお願い

「進路届」の提出および「就職活動体験記」へのご協力をお願いいたします。「進路届」は進路が決まった時点で、全員提出が必要です。また、体験記は後輩の皆さんにとって何物にも代えがたい貴重な資料となりますので、ぜひご協力ください。

「進路届」は、キャリア支援課(Q棟2階)窓口もしくはPORTAアンケートにてご回答ください。また「就職活動体験記」作成要領およびフォーマットは下記Webページからダウンロードできます。 <https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/students/shinro.html>



■ 名誉教授称号授与

次の3名の教授に対しその功績を称え、名誉教授の称号を授与しました。

2025年4月1日付

●人文学部

浦上昌則 教授

●外国語教育センター

中田 晶子 教授

●教職センター

宇田 光 教授



▲前列左から：浦上昌則教授、宇田光教授、キザラ学長、中田晶子教授

■ 寄附者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

田村 誠久 様

物質文化研究会

代表 黒澤 浩 様 匿名ご希望者1名様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

小笠原和也 様

大橋 久美 様

木村方美 様

森本 侑 様

玉川 鮮姫 様

匿名ご希望者2名様

近藤 健司 様

近藤 幹夫 様

「南山大学博士後期課程奨学支援募金」へのご協力に感謝いたします。

匿名ご希望者2名様

■ 退職

2025年3月31日付

●人文学部

教授 浦上昌則

講師 青木 剛

●外国語学部

教授 BAYERLEIN, Oliver

講師 COCHRANE, Robert

●経済学部

教授 川本 真哉

●経営学部

講師 長谷川高則

●法学部

准教授 中田 裕子

●法務研究科

教授 小原 将照

●総合政策学部

教授 水落 正明

●理工学部

教授 野呂 昌満

教授 井上 克郎

教授 佐伯 元司

教授 白石 高章

教授 奥村 康行

教授 梅比良正弘

教授 本田 晋也

●国際教養学部

教授 平岩 恵里子

●外国語教育センター

教授 中田 晶子

講師(L.I.) GAGNON, Greg

●教職センター

教授 宇田 光

准教授 大塚 弥生

●保健センター

助教 香川 容子

助教 山田 麻未

■ 新任教員紹介

2025年4月1日付

●人文学部

講師 藤岡 慧

(専攻分野：心理計量学)

●外国語学部

教授 SCHILLING, Anette

(専攻分野：ドイツ語教育、ドイツ言語文化学、異文化コミュニケーション、ドイツ文学)

講師 HASTINGS, Christopher Robert

(専攻分野：TESOL)

講師 HOWE, Bradley Guy

(専攻分野：TESOL)

●法学部

准教授 生駒 俊英

(専攻分野：民法(家族法))

准教授 鈴木 敬史

(専攻分野：知的財産法)

●総合政策学部

教授 李 彦銘

(専攻分野：地域研究、国際関係論、日中関係)

講師 武内 博子

(専攻分野：日本語教育学)

●理工学部

教授 天 寄 聡 介

(専攻分野：ソフトウェア工学)

教授 蛭川 潤一

(専攻分野：時系列解析、数理統計学、金融工学、ウェブレイト解析)

教授 鷹取 泰司

(専攻分野：無線システム、情報通信)

教授 高田 豊雄

(専攻分野：情報理論、情報セキュリティ)

●国際教養学部

教授 道田 悦代

(専攻分野：国際経済学、環境経済学、開発経済学)

●人類学研究所

准教授(学芸員) 鈴木 康二

(専攻分野：先史学(考古学)、博物館教育、幼児教育)

●外国語教育センター

講師(L.I.) GOTOH, Mie

(専攻分野：英語教育)

講師(L.I.) GONZALEZ, Cynthia

(専攻分野：英語教育学)

講師(L.I.) LYONS, Peter

(専攻分野：英語教育学)

●教職センター

教授 小林 整次

(専攻分野：教育学、教育経営学)

●保健センター

助教 高橋 亜希

(専攻分野：臨床心理学)

●ハラスメント相談室

講師 山田 麻未

(専攻分野：臨床心理学)

本学名誉教授 松永 隆氏がご逝去

本学名誉教授の松永隆氏(71歳)が、2024年12月8日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

本学名誉教授 大岩 勉氏がご逝去

本学名誉教授の大岩勉氏(86歳)が、2025年3月2日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

学生応援募金 スタート!!

2025年4月より「ほまれはここに我が南山」学生応援募金がスタートしました。

募金名には「南山大学学生歌」の歌詞の一部を冠し、いただいたご寄附は、部活動に打ち込む学生や国際性を磨き世界に羽ばたく学生など、本学で学ぶ学生が充実した大学生活を送るための資金として活用させていただきます。

ご寄附いただいた方には本学卒業生の企業から提供された商品をはじめ、多彩な返礼品をご用意しております。

南山生への温かいご支援をよろしくお願いいたします。

<https://homare.nanzan-u.ac.jp>



返礼品付き寄附			
大曲 大曲酒 500ml x 2本 寄附金 20,000円 ※お振込みによる	南山大学産品セット 寄附金 50,000円 ※お振込みによる	南山大学産品セット 寄附金 10,000円 ※お振込みによる	南山大学産品セット 寄附金 10,000円 ※お振込みによる
スパイス香る年越しカレー 寄附金 5,000円 ※お振込みによる	豪華な夕食 寄附金 30,000円 ※お振込みによる	ギフトセット 寄附金 10,000円 ※お振込みによる	ショップ 寄附金 1,000,000円 ※お振込みによる



昨年度、「山里キャンパス」60周年を記念して立ち上げた、YAMAZATO60+プロジェクトが、YAMAZATO60+(プラス)にリニューアルしました。「南山大学をはかる」、「南山大学をはなす」、「南山大学をあるく」、「南山大学をあそぶ」など、様々な企画を進行中です。

「YAMAZATO60+」特設サイト <https://www.nanzan-u.ac.jp/yamazato60/>

